

港湾空港局

一般会計要求総額	8,423百万円 (前年度比+49.7%)
特別会計要求総額	4,662百万円 (前年度比▲14.5%)
合計	13,085百万円 (前年度比+18.1%)

【平成30年度 予算要求の経営方針】

「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進!北九州」プランの推進を図るとともに、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「北九州市新成長戦略」に掲げた施策を着実に実行していきます。

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業、(拡)：拡充事業

1 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進

要求額（一般会計、特別会計）12,161百万円（対前年度 17.8%）

●更なる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進（航路網の充実など）

東九州自動車道の開通やフェリーの大型化などの好機を逃すことなく、戦略的なインセンティブにより、国際コンテナ、国際RORO船の航路誘致や、環境・エネルギー産業の拠点化等による集貨・創貨を図る。

- ・(新) 北九州港集貨航路誘致事業、(新) アジア・シームレスRORO航路誘致事業、響灘及び新門司埋立地整備等事業

●響灘地区におけるエネルギー関連産業の拠点の形成

響灘地区における風力発電関連産業の総合拠点形成に向け、響灘洋上ウインドファームの着実な設置を契機に、関連産業の集積を図る。また、バイオマス発電関連産業の拠点化を目指す。

- ・(新) 響灘洋上風力発電拠点化推進事業
- ・バイオマス発電関連等響灘地区産業拠点化推進事業



(洋上風車設置イメージ【GeoSea/ハンフレットより】)

●市民生活を守る港づくり、港の賑わいづくり

響灘東地区処分場を整備するほか、海岸（高潮）事業などにより、市民生活や企業活動を支える港づくりを目指す。

また、大型クルーズ船等を誘致し、市内への観光客の増加を図り、賑わいを創出する。

- ・響灘東地区処分場整備事業、海岸（高潮）事業、(新) 特定外来生「ヒアリ」対策事業
- ・(新) クルーズ船誘致事業



(ひびきコンテナターミナルに寄港したクルーズ船)

●港湾施設の整備・効果的かつ効率的な維持管理

市民生活や企業活動を支える重要なインフラである港湾施設（岸壁・防波堤等）について、必要な施設整備を行うとともに、老朽化に対する効果的かつ効率的な維持管理を行う。

- ・(新) 国直轄事業負担金、(新) 港湾施設健全化対策事業、(新) 航路白地浚渫対策事業、(新) 北九州港港湾施設指定管理運営事業

2 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

要求額（一般会計、特別会計）919百万円（対前年度 21.6%）

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、物流・交流・産業に関する3つの将来像の実現に向け、平成28年度からの3カ年度を「北九州空港将来ビジョン推進強化期間」と位置づけた最終年度にあたり、福岡県との緊密な連携のもと、更なる取組みの強化を図る。

- ・(新) 北九州空港道路線誘致事業、(新) 北九州空港利用促進事業
- ・(新) 北九州空港航空貨物拠点化事業、北九州空港アクセス推進事業



(北九州空港全景)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。